

## カルバミン酸クロルフェネシン 125mg錠

溶出試験 本品1個をとり、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第2法により、毎分50回転で試験を行う。溶出試験開始、15分後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径0.45 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液を試験液とする。別にカルバミン酸クロルフェネシン標準品をシリカゲルを乾燥剤として4時間減圧乾燥し、その約 0.028 g を精密に量り、メタノール 1 mL に溶かした後、水を加えて正確に 50 mL とする。この液 5 mL を正確に量り、水を加えて正確に 20 mL とし、標準液とする。試験液及び標準液につき、水を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長278nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。

本品の15分間の溶出率が85%以上のときは適合とする。

カルバミン酸クロルフェネシン ( $C_{10}H_{12}ClNO_4$ ) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{18}{5}$$

$W_S$  : カルバミン酸クロルフェネシン標準品の量 (mg)

カルバミン酸クロルフェネシン標準品

カルバミン酸クロルフェネシン(日局)。ただし、乾燥したものを定量するとき、カルバミン酸クロルフェネシン ( $C_{10}H_{12}ClNO_4$ ) 99.0%以上を含むもの。

## カルバミン酸クロルフェネシン 250mg錠

溶出試験 本品1個をとり、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第2法により、毎分50回転で試験を行う。溶出試験開始、15分後、溶出液 20 mL 以上をとり、孔径0.45 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き、次のろ液 4 mL を正確に量り、水 4 mL を正確に加え、試験液とする。別にカルバミン酸クロルフェネシン標準品をシリカゲルを乾燥剤として4時間減圧乾燥し、その約 0.028 g を精密に量り、メタノール 1 mL に溶かした後、水を加えて正確に 50 mL とする。この液 5 mL を正確に量り、水を加えて正確に 20 mL とし、標準液とする。試験液及び標準液につき、水を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 278nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。  
本品の15分間の溶出率が85%以上のときは適合とする。

カルバミン酸クロルフェネシン ( $C_{10}H_{12}ClNO_4$ ) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{18}{5}$$

$W_S$  : カルバミン酸クロルフェネシン標準品の量 (mg)

カルバミン酸クロルフェネシン標準品

カルバミン酸クロルフェネシン(日局)。ただし、乾燥したものを定量するとき、カルバミン酸クロルフェネシン ( $C_{10}H_{12}ClNO_4$ ) 99.0%以上を含むもの。